

らが代表する国の様々な問題や、その国の外交政策や国連での参加傾向などを理解しなくてはなりません。つまり、その国の代表に扮するために、その国の政治史、過去の国連での投票実績、その国の指導者が行ったスピーチや発言、賛成した決議案、過去の決議案を起草したり投票したりするにあたってどのような国々と連携または対立して来たかなどを調査するのです。準備を進めるにつれ生徒達は、議会における討議規則や国際法、決議案起草の細かな手順なども学ばなければならないことにも気づき、この任務の重大さを改めて認識するようになります。

● 国際社会の縮図

そして迎えた模擬国連当日。ビジネススーツに身を固めた様々な国からの高校生が集まる様子は、まるで本物の国連総会本会議場に足を踏み入れたようです。自分の持ち寄った決議案が他国の代表から反対を受けたり修正されたこと、ある国から提出された決議案に感銘を受けたこと、思うように意見を述べられなかった自分をもどかしく感じたこと、自分の書いた報告書が他国の代表に褒められて嬉しかったこと、と短い間に色々なことがありましたが、異なる意見や立場の国々が合意に至る難しさや、反対に違いを乗り越えて合意に達したときの充実感を味わったり、自分に自信を持ったり反省したりの5日間でした。

また、それぞれの利害関係の中で対立したり同調したりする各国の立場が理解出来るようになった一方で、このような場で常に中立の立場をとる国連組織下の機関や NGO の果たす役割が平和でより良い世界を作るためにいかに重要かを、改めて痛感したとの感想を残した生徒もいました。

● 世界が違って見える瞬間

模擬国連に参加した生徒達は、他人の役割を演じ、その人の立場や見解に立つこと、現実の世界が直面している問題や他人の利害関係についての理解を深めること、そして世界各国から集まった若者達との関わりを持つ事などによって、普段の学校生活では体験できない様々なことを経験します。生徒達が世界の諸問題に対する深い洞察力を得、真の国際協力について学ぶためには絶好の機会です。本会議までの約2ヶ月、授業やクラブ活動の合間を縫って行なう調査やディスカッションなど膨大な量の準備作業は決して楽ではありませんが、この貴重な体験をした生徒達の目には、今までとは全く違った世界が映っていることでしょう。そしていつかこの中から、実際に国連機関で、より良い世界をつくるために活躍する生徒が現われる日が来るかもしれません。

名古屋国際学園 学校概要

名古屋国際学園（名古屋インターナショナルスクール）は、中部地方で唯一、全課程で米国西部地域学校大学協会（WASC）及び、国際バカロレア機構（IBO）の正式認可を受けたインターナショナルスクールです。

愛知県だけでなく近隣の岐阜県、三重県からも、25カ国以上、約330名の生徒が通学しています。授業は全て英語で行われます。



Data

創立 / 1964年、生徒数 / 約330名

設置学部 / 幼児教育部（3～4歳児）、小学部（キンダーガーテン～5年生）、中部部（6～8年生）、高等部（9～12年生）
認可 / 米国西部地域学校大学協会（WASC）・国際バカロレア・ディプロマ・プログラム（IBDP）

※ 2010年 国際バカロレア・初等教育プログラム（IBPYP）認定予定

スケジュール

米国の標準的なカレンダーに準じ、始業は8月下旬、終業は6月中旬となっていますが、入学選考基準を満たしていれば、編入は随時可能です。

卒業後の進路

卒業時には、アメリカのハイスクール卒業と同等の資格が得られるとともに、国際バカロレアのディプロマ資格を取得するチャンスもあります。卒業生の多くは、アメリカ、カナダなど英語圏の大学に進学します。近年では、早稲田大学、上智大学など、英語のプログラムがある日本の大学に進学した生徒もいます。

学校法人 名古屋国際学園
名古屋インターナショナルスクール
〒463-0002 名古屋市守山区中志段味南原 2686
TEL : 052-736-20253
HP : www.nagoyais.jp/nis/ E-mail : info@nagoyais.jp



名古屋インターナショナルスクールの、また中部地区の帰国受入れ校の、初めての、北米向け学校紹介の始まりです。

中部地区での帰国受入れ校の教育の多様性を求める保護者が増えてきています。その中で、インター校として積極的に学校と教育を紹介していただける「名古屋インター」に心から感謝いたします。

このコラムは、他の地区へ帰国予定の生徒・保護者にとっても、インター校の実際の姿を知ることにより、今後の学校選択に役立つと信じています。